NRU-east
National Railway Workers' Union

ダイジェスト版 2025年
No. 339 10月10日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 武田 幸喜

声かけて
仲間とTUNAG
拡大へ

10/10 改善を求める申し入れ提出

JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方

寄せられた主な声

●能力昇給となり、これまでの定期昇給から引き下げられる……
●更に評価のために１ON １ミーティングと言われても……
●基準内賃金であった都市手当が無くなり、一時金に反映されず賃下げ？
●企業型拠出年金となり、運用成績が低下したらどうなるの？
●都市手当てでＡ級地なのに地域額で引き下げは納得いかない！
●セカンドキャリアは良いが、出向先の労働条件改善が必要だ！
●今回の募集では丁寧な説明がされていない。改善を！

改善を求めた主な内容

○乗務員の不時の欠勤や臨時列車の運転等に際し、随時乗務するために、職場で待機する乗務員を毎日確保すること。
○企業型確定拠出年金については社員に分かりやすく説明すること。
○住居額の所有住居・賃貸住居額では、７万超～９万円以下と９万超で地域ＡとＢで格差をつけたが、地域Ａに統一すること。
○住宅等手当の地域額については勤務地も対象とし、地域Ａにある事業本部については、地域額Ａの４５，０００円とすること。
○能力昇給の「区分」指定は区分６を基準とし、公正・公平に実施すること。
○都市手当に対する経過措置については、一時金でも反映させること。
○セカンドキャリアスタッフ制度は本人希望を尊重して「意に反する」再雇用とならないようにすること。今後の募集スケジュールを明らかにすること。

労働者が不利益を被らないよう しっかりと改善を求めていきます！